

篠川事務所の”ホット”通信

2016年10月号

税理士・中小企業診断士 篠川徹太郎事務所

〒226-0003

神奈川県横浜市緑区鴨居3-1-9-201

電話：045-530-3727 FAX：045-530-3728

<http://shinokawa-office.com>

mail@shinokawa-office.com



ホットな話題をほっとするような分かりやすさでお伝えする”ホット”通信・・・Vol.26をお届けします。

9月は雨ばかりでしたね。特に週末は雨が多く、私の場合もソフトボール大会が中止になりました。お彼岸過ぎても暑い日が続いていますので、やはり地球温暖化の影響を実感させられます。

【平成二十九年一月から全ての人が加入可能に】

公的年金に上乗せして給付を受ける私的年金のひとつに「確定拠出年金」があります。掛金を定めて事業主や加入者が拠出し、運用は加入者自らがを行います。将来の給付額は掛金とその運用益との合計額によって決まるというのが、確定拠出年金の仕組みになります。これには事業主が実施する「企業型」と個人で加入する「個人型」があり、個人型は平成二十九年一月から加入者の範囲が拡大され、基本的には全ての人が加入できるようになります。また個人型の税制優遇措置には次のようなものがあります。まずひとつが「掛金が全額所得控除」になります。例えば毎月の掛金が2万円で税率が20%だとすると節税効果は年間48000円、25年間で総額120万円になります。次に「運用益も非課税で再投資」されます。通常、金融商品の運用益には源泉分離課税がかかりますが、個人型の運用益は非課税になります。そしてもうひとつは「受け取るときの優遇措置」です。老齢給付金を一時金として受け取る場合は「退職所得控除」、年金として受け取る場合は「公的年金等控除」という控除が受けられます。注意点としては「自分で運用」する自己責任型の制度であることや、中途での引出しに制限があり原則60歳まで引き出すことができないこと、加入時の手数料や毎月の口座管理費が必要になることなどが挙げられます。



【セリフに見えるところが面白い！メモスタンド】

メモを挟むと三国志の英傑たちの吹き出しセリフに見えるメモスタンド『Emo-CLIP』が話題です。横山光輝が描く表情豊かなキャラクターの絵柄は裏表で異なり、メッセージに喜怒哀楽の感情を与えます。現代のビジネス戦略や人心掌握にも通じる普遍性で社会人に人気の三国志ですが、1970年代に始まった全60巻に渡る単行本は学校の図書館などにも置かれるほど浸透しており、全8種類が入ったコンプリートBOXを大人買いするファンが多いのもうなずけます。



【今月の教えてキーワード：地域おこし協力隊】

人口減少や高齢化が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらいながら定住を促進する制度。2009年に総務省によって制度化され、2015年度には全国の自治体で約2600名が活動している。地方での暮らしや社会貢献といった都市住民のニーズに応えながら地方の地域力の維持を目指す制度だが、生活費や住居が供される3年間の任期を経た後の定住率など運用面の課題も生じている。

【アホウドリに学ぶ商売の知恵】

「アホウドリ」という名前の鳥がいます。一説には、ほとんど人間と接触しないので警戒心が少なく、簡単に捕まえられるアホな鳥だからという不名誉な理由でその名が付いたそうです。ところが、アホウドリはとても賢い人生設計で生きています。野生のアホウドリの寿命は15年から20年。野鳥では異例の長生きです。

1年に1回だけ産卵し、1回の産卵では1個の卵しか産みません。産卵後はほぼ1年かけてひなをかえし、育てて教育します。ひなの育成には多くの時間がかかるので卵を産まない年もあります。

子育てする場所は絶海の孤島。場所は限られている反面、哺乳類などの外敵が来ないので安全に子育てできます。外敵の少ない孤島で長生きして子どもを大切に育てる。これがアホウドリの人生設計です。己をよく知った上での



見事なやり方ですね。アメリカのミッドウェー環礁国立自然保護区には、特に賢いアホウドリが住んでいます。推定年齢65歳以上。確認されている限りでは世界最高齢の野鳥というだけでも大したものなのに、つい数年前にも産卵し、これまでに30羽以上のひなを育てあげたそうです。環境汚染などで生存環境が悪化する中、通常の3倍以上も生き続ける大ベテランのこのアホウドリを研究者たちは「ウィズダム（知恵）」と呼んでいるとか。

肩書きが社長でも経営者にはなれません。経営者と呼ばれることはあっても、実際に経営ができなければニックネームと同じになってしまう。「経営者の仕事はシミュレーションに尽きる」と言った人がいますが、確かに経営には知恵が必要です。ひょうひょうとしながらも商売がうまくいっているなら、その人は陰で何十回もシミュレーションをしてお金と人を動かしているのかもしれない。自分をよく知り、優先順位を的確に判断してシミュレーションを繰り返し、最善の策を取っていくのが経営だとすれば、アホウドリは立派な経営者です。経営者というニックネームに甘んじてはいけません。アホウドリに負けない商売設計で先へ先へと進んでいきたいものですね。

自分が立っている所を
深く掘れ。そこから
きつと泉が湧きでる

今を生きる！

先人の言葉

明治時代の文芸評論家である高山樗牛（ちよぎゆう）の言葉。隣の芝生に目移りすることなく、自分が信じた道を自分のやり方で進むことが成功への近道である。

【陸王】

池井戸潤の新作です。働く男を書かせたら当代随一の書き手ですが、今回も弱小メーカーが知恵とチームワークそして根性で大手メーカーに立ち向かいます。ケガに苦しむランナーや町の発明家さらには就職活動で悩む息子までが登場し、エンタメ要素テンコ盛りです。

